

研究データの持続可能な ライフサイクル構築へ 向けて

Toward Sustainable Research Data Lifecycle

2024年度京都大学図書館機構講演会
国際シンポジウム（逐次通訳あり）

Research Data Management in Canadian Context を2023年に刊行するなど先進的な取り組みをみせるカナダの事例をもとに、研究データの保存・共有・活用を可能にする持続的なライフサイクルの構築を検討します。その上で、研究者・図書館員・アーキビストがライフサイクルの各時点で、どのような役割を果たしていけばよいのかを考えます。



Stephen Marks
University of Toronto
Libraries



Julie Shi
Ontario Council of
University Libraries



込山悠介
国立情報学研究所



南山泰之
国立情報学研究所

会場

京都大学芝蘭会館
山内ホール

<https://www.med.kyoto-u.ac.jp/facilities/shiran/access/>

定員

60名（無料・申込先着順）

内容

- 講演：① A History of National Research Data Management Efforts in Canada
Stephen Marks (University of Toronto Libraries)
② Digital Preservation for Research Data: Efforts at Borealis
Julie Shi (Ontario Council of University Libraries)
③ 明日のための研究データの保存：GakuNinRDMのアプローチ【オンライン】
込山悠介（国立情報学研究所）
④ 研究データの長期保存に関わる機能群を対象としたオープンソースソフトウェアの比較
南山泰之（国立情報学研究所）

コメント：青木学聡（名古屋大学）、西岡千文（京都大学情報環境機構）

開会挨拶：永盛克也（京都大学図書館機構長） 総合司会：北村由美（京都大学附属図書館）

※講演会終了後に動画を「京大図書館きこうチャンネル」で公開する予定です。

対象

研究者・アーキビスト・大学図書館員をはじめ研究データ管理に関心がある方

申込

京都大学図書館機構ウェブサイトの下ページからお申込みください。

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/?p=1402322>

なお、当日午前中10:30~11:30に橋本陽（京都大学大学文書館）による「OAIS参照モデル」に関するオプションセミナーを予定しています。参加希望の方は申込時に「希望する」を選択してください。

主催：京都大学図書館機構

共催：京都大学総合博物館・京都大学大学文書館

問合先：京都大学附属図書館総務課総務掛 soumu660@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp



京都大学
KYOTO UNIVERSITY